

令和6年度

# 租税教育実践発表会資料

石巻市立雄勝中学校  
教諭 杉山 孝一

## 1. はじめに

日常生活において、納税や税の意義や役割等を実感することが多々ある中、今後社会の一員となる中学生に財政や租税のあり方について、現代社会の特色や将来の持続可能性と関連させて考察させることは非常に大切であると考えます。

本単元は、中学校学習指導要領社会編の公民的分野「B 私たちと経済」、(2)「国民の生活と政府の役割」に該当する。

財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解することは、財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に取り上げ、財政が社会資本の整備や外交、防衛などの公共財の提供によって、現世代のみならず将来世代をも含め、持続可能な社会の形成に資することを念頭に、人々の生活を保障する国民福祉の観点に立って行われるべきものであることを理解できるようにすることを意味している。

また、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解できるようにするとともに、税の負担者として租税の使途や配分の在り方を選択・判断する責任があることなどについて理解と関心を深めるなど納税者としての自覚を養うことが大切である。

## 2. 生徒の実態

### (1) 学校について

本校は平成29年度、小中併設校として現在の地（石巻市雄勝町大浜）で開校した。

平成23年3月の東日本大震災により旧雄勝町は壊滅的な被害を受け、その影響から多くの住民が他の地区に移転し、それに伴い児童・生徒数も減少している。

本年度の児童・生徒数は、小学生21名、中学生9名で今回の授業を行った中学3年生は実に1名という現状である。様々な活動において、小学校との連携を図るなど9年間でのたくましい成長を目指している。また地域との関わりは深く、雄勝巡りや漁業体験など雄勝ならではの活動を積極的に行うなど、地域全体で子どもを育成しようという風土も醸成されている。

### (2) 生徒について

上記のように、3学年の在籍は1名である（昨年度まで2名であったが漁村留学生1名が転校）。何事にも真面目で意欲的に活動できる生徒であり、学習のみならず学校生活においてはよきリーダーとして児童・生徒の中心的存在である。

社会科の授業においても真摯に向き合い、与えられた課題に対して意欲的に取り組み理解力が優れている。一方で、1名という現状から多様な意見に触れることが少なく、思考が広がりにくいということが課題である。授業では指導者があえて反対意見を提示したり、多様な資料を提示するなど工夫する必要がある。

## 3. 指導にあたって

税の必要性やその効果等についてはもちろんであるが、次時以降で扱う日本の財政や現代社会の課題（少子高齢化や社会保障の現状）等にも触れながら、将来に向けた持続可能な税の在り方について、税の負担者としての自覚と課題解決に向けた態度を養いたい。

指導における本校の特徴として、小中連携のもと主要五教科の中学校教員が小学6年生の授業を受け持っている（これにより小学5・6年生の複式が解消される）。

このことにより、6年生で扱う税金の学習に実際に関わることができ、そこでの学習を3年後の公民の学習に直接役立てることができている。こうしたメリットを活かすことも

系統的な学習という観点で有効である。

#### 4. 指導計画（全4時間）

学 習 活 動	学 習 目 標	評 価 規 準
1 私たちの生活と 財政（本時）	税金の種類や仕組みについて、資料を活用しながら説明する。	税金の種類や仕組みについて、資料を活用しながら説明できる。 （思・判・表）
2 財政の役割と課題	財政が抱える課題に対して考察し、表現する。	財政の課題について将来を見据えながら考察し、表現している。 （思・判・表）
3 社会保障の仕組み	社会保障制度の仕組みについて理解する。	日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。（知・理）
4 少子高齢化と財政	少子高齢化における社会保障と財政との兼ね合いについて、その解決に向け関わろうとする。	将来を見据え、社会保障と財政について主体的に社会に関わるよう自己表現している。 （主体的に学習に取り組む態度）

#### 5. 授業について

(1) 題材名「私たちの生活と財政」

(2) 本時の目標

税金の種類や仕組みについて、資料を活用しながら説明することができる。

【思考・判断・表現】

(3) 指導過程

段 階	学 習 活 動	指導・支援上の留意点 ●評価（観点）＜方法＞
導 入	1. 税金の種類を確認する。 Q「以下の文から考えられる税は？」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">杉山先生は教員で自宅（持ち家）から車で通勤しています。先日の休日はゴルフをして温泉に入り、帰りにお酒を買って帰りました。</div>	●様々な税の種類を理解できたか。 （知・技）＜発表＞ ・小学6年生で学習した税の種類を想起させながら行うことも。
	2 主な税金と納税の仕方を理解する。 ・直接税と間接税 ・国税，都道府県税，市町村税	・教科書の資料 <sup>3</sup> 『主な税金』を活用する。
展 開	3 税金の役割を理解する。 Q「税金が使われているもの・ひと・ことを挙げ、その必要性は？」 ・人々の生活に欠かせないもの ・公共サービスの必要性 ・学校や教科書など身近なもの	●税金の役割や必要性について理解できたか。（知・技）＜発表＞

	<p>4 税金の徴収方法について説明する。</p> <p>Q「よりよい徴収方法はどんな方法だろうか？」</p> <p>①直接税と間接税の割合から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の国のように間接税を増やす</li> <li>・間接税は低所得者に負担増</li> </ul> <p>②所得税の累進課税等から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額所得者へより課税を</li> <li>・子どもを持つ世帯への優遇を</li> </ul> <p>③生徒自身が考える徴収方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税の割合</li> <li>・累進課税の課税対象所得額と税率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の公平と負担能力を考えさせる。</li> <li>・他の国の状況を知らせる。</li> <li>・教科書資料①の『国一般会計予算』で厳しい財政状況に触れる。</li> <li>●税金の種類や仕組みについて、資料を活用しながら説明できたか、また自分独自の考えを発表できたか。</li> <li>(思・判・表) &lt;発表・作成資料&gt;</li> <li>・少子高齢化や今後の社会保障等についても考えさせたい。</li> <li>・納税における家計や企業の負担と経済成長についても考えさせたい。</li> </ul>
まとめ	<p>5 税の意義や役割</p> <p>Q「税の意義や役割について、まとめよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の意義や役割についてまとめられたか。</li> <li>(思・判・表) &lt;発表・ワークシート&gt;</li> <li>・将来に向けた持続可能な思考を継続させていきたい。</li> </ul>

## 6. 成果と課題

税の学習を通して、税と自分の生活が大きく関連していることを認識するとともに、将来の社会を展望することができた。特に税の徴収方法を考えたときに、少子高齢化や国の財政状況等、多面的・多角的に考察、構想、表現しようとしたことは社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を養うことができたと考える。

一方で、生徒が一人ということもあり多様な意見の交換など思考が膨らむことが難しい現実がある。今後も折に触れ様々な資料等を活用し多様な意見や考えに触れさせていきたい。

## 7. おわりに

今回資料担当校として、このような機会をいただき感謝いたします。役職定年制により久しぶりに教諭として授業をする立場になり、教材研究の傍ら「税の意義や役割」について深く考える機会となりました。

実は30年前の平成6年にも発表の機会をいただき、30年ぶりの発表でした。30年前は消費税は3%で5%にするかどうかで議論されていた時期です。この30年間で税制の在り方もだいぶ変容し、今は将来にわたって持続可能な税制の在り方が問われています。

私たち中学校社会科教員は、今後も急速に社会が変化することが予想される未来に生徒を送り出すわけで、税への適切な考えはもちろんのこと、広い視野で主体的に生きていく人材を育成していかなければと思う次第です。